

2024 年度 卒業時調査の結果報告について

2025 年 5 月

各位

看護学部 IR より、卒業時調査の結果についてご報告いたします。

概要

本調査は、従来の 2 つの調査（学生満足度調査、アセスメントテスト）を統合し新たな項目を追加した上で、2019 年度より実施しています。

2024 年度分は昨年度と同じく Forms 上でのオンライン実施となりましたが、昨年度の回収率（72.7%）より大きく下がりました。

本調査データにつきましては、今後様々なデータと接合することで、本学の教育面・環境面の向上に役立てていく予定です。

まずは、単純集計結果のみのお知らせとなりますが、ご参考いただければ幸いです。

- 実施調査名：「宝塚大学看護学部 2024 年度 卒業時調査」
- 実施日：2024 年 2 月 17 日（国試自己採点日）
- 対象：4 年次生
- 回収数：54（卒業生 100 名：回収率 54.0%）

Q1. 大学生活の結果

- 全体的に改善傾向
- 特に下記の3項目についてはポジティブな回答が多かった
 - Q1-15 大学生活を通して、満足できる教育を受けた
 - Q1-16 全体的に見て、大学生活は満足できるものだった
 - Q1-17 後輩・知人・友人などに宝塚大学看護学部への入学を勧めたい
- 下記の4点は、今後の注力点 相談場所や卒業生・インターンとの接続
 - Q1-3 相談や悩みなどを解決するための大学サービス（相談窓口など）をよく知っていた
 - Q1-6 卒業生の看護実践を知る機会が充実していた
 - Q1-7 キャリアセンターは利用しやすかった
 - Q1-8 インターンシップなどの学外での職場体験制度の案内が充実していた

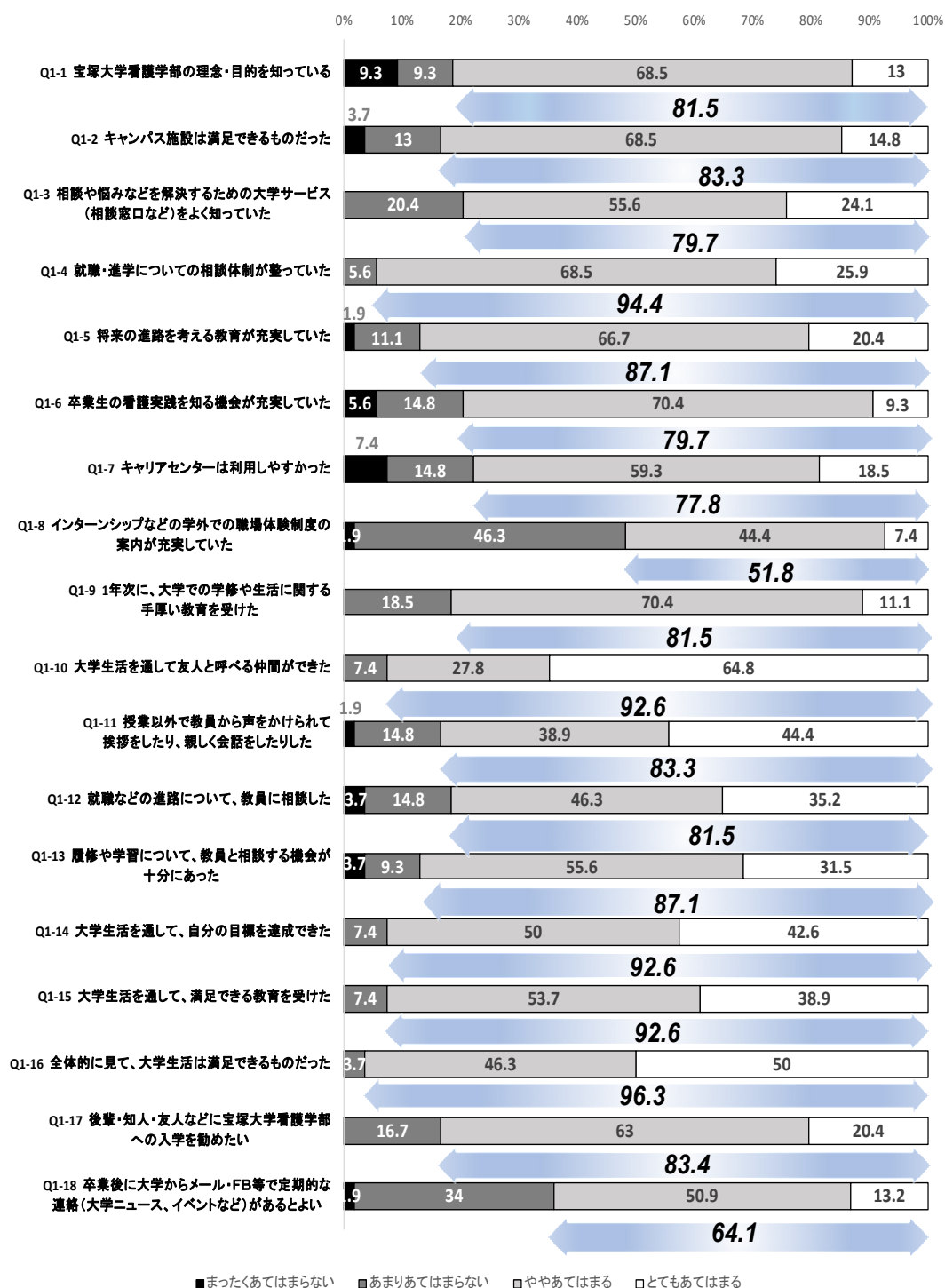
Q2. 大学で身につけた力の結果

- 全体的に改善傾向。
- 2024 年度の卒業生は、大学でしっかりと多様な力を身につけることができた実感していた。

Q3. 国家試験対策講座の結果

- 東アカ・WAGON・模擬試験の対面講座の満足度が高い。
- 過去問への取り組みが役に立ったと回答している。
- 糺先生の面談対象者の満足度が高い
- 定期的に集まって学習する機会を確保し、過去問に取り組み、進捗を丁寧にフォローする関わりへの満足度が高い。

Q1. 大学生活の結果

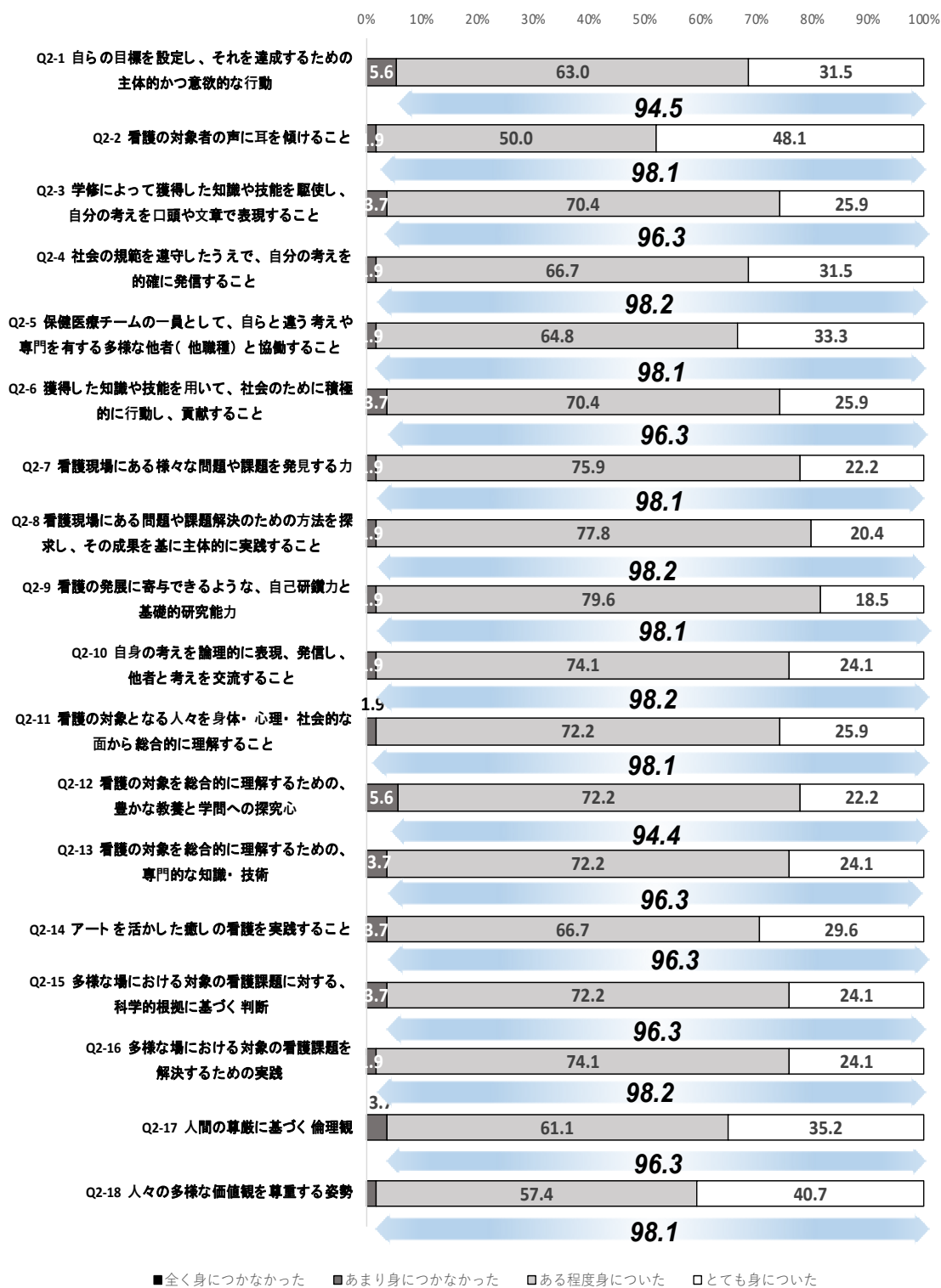


※図中の太字・斜体の数値は「とてもあてはまる」「ややあてはまる」の合計(%)

昨年度との比較（有効％）

	2024年度	2023年度	差分
Q1-1 宝塚大学看護学部理念・目的を知っている	81.5	61.1	20.4
Q1-2 キャンパス施設は満足できるものだった	83.3	65.3	18
Q1-3 相談や悩みなどを解決するための大学サービス（相談窓口など）をよく知っていた	79.7	75	4.7
Q1-4 就職・進学についての相談体制が整っていた	94.4	81.9	12.5
Q1-5 将来の進路を考える教育が充実していた	87.1	73.6	13.5
Q1-6 卒業生の看護実践を知る機会が充実していた	79.7	48.6	31.1
Q1-7 キャリアセンターは利用しやすかった	77.8	66.7	11.1
Q1-8 インターンシップなどの学外での職場体験制度の案内が充実していた	51.8	56.9	-5.1
Q1-9 1年次に、大学での学修や生活に関する手厚い教育を受けた	81.5	43.1	38.4
Q1-10 大学生活を通して友人と呼べる仲間ができた	92.6	87.5	5.1
Q1-11 授業以外で教員から声をかけられて挨拶をしたり、親しく会話をしたりした	83.3	78.9	4.4
Q1-12 就職などの進路について、教員に相談した	81.5	73.6	7.9
Q1-13 履修や学習について、教員と相談する機会が十分にあった	87.1	68.1	19
Q1-14 大学生活を通して、自分の目標を達成できた	92.6	70.8	21.8
Q1-15 大学生活を通して、満足できる教育を受けた	92.6	66.2	26.4
Q1-16 全体的に見て、大学生活は満足できるものだった	96.3	72.9	23.4
Q1-17 後輩・知人・友人などに宝塚大学看護学部への入学を勧めたい	83.4	59.7	23.7
Q1-18 卒業後に大学からメール・FB等で定期的な連絡（大学ニュース、イベントなど）があるとよい	64.1	49.3	14.8

Q2. 大学で身に付けた力の結果

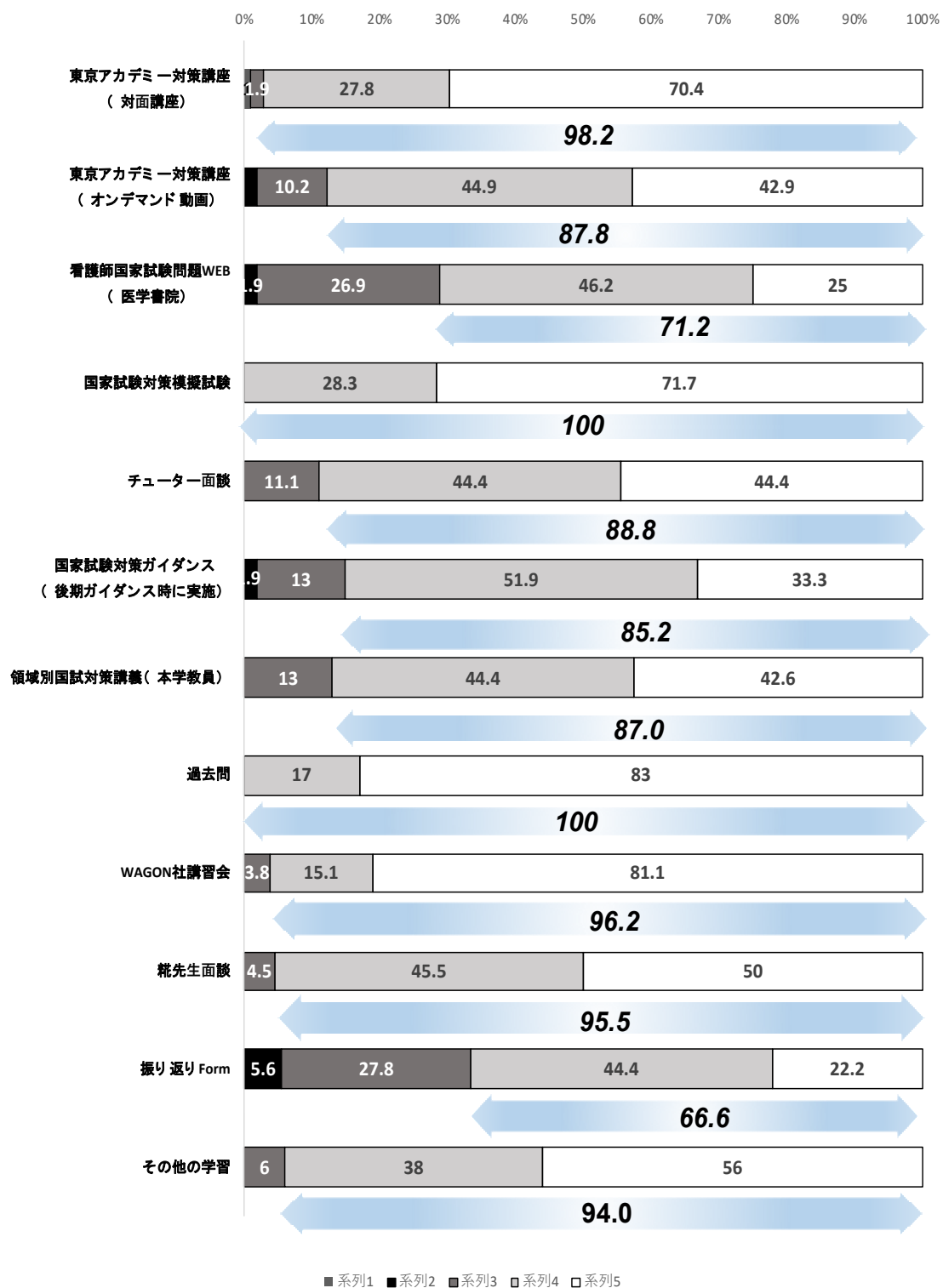


※図中の太字・斜体の数値は「とても身についた」「ある程度身についた」の合計(%)

昨年度との比較（有効％）

	2024年度	2023年度	差分
Q2-1 自らの目標を設定し、それを達成するための主体的かつ意欲的な行動	94.5	81.9	12.6
Q2-2 看護の対象者の声に耳を傾けること	98.1	93.0	5.1
Q2-3 学修によって獲得した知識や技能を駆使し、自分の考えを口頭や文章で表現すること	96.3	84.7	11.6
Q2-4 社会の規範を遵守したうえで、自分の考えを的確に発信すること	98.2	86.1	12.1
Q2-5 保健医療チームの一員として、自らと違う考えや専門を有する多様な他者（他職種）と協働すること	98.1	83.3	14.8
Q2-6 獲得した知識や技能を用いて、社会のために積極的に行動し、貢献すること	96.3	83.1	13.2
Q2-7 看護現場にある様々な問題や課題を発見する力	98.1	86.1	12.0
Q2-8 看護現場にある問題や課題解決のための方法を探求し、その成果を基に主体的に実践すること	98.2	83.3	14.9
Q2-9 看護の発展に寄与できるような、自己研鑽力と基礎的研究能力	98.1	79.2	18.9
Q2-10 自身の考えを論理的に表現、発信し、他者と考えを交流すること	98.2	88.7	9.5
Q2-11 看護の対象となる人々を身体・心理・社会的な面から総合的に理解すること	98.1	93.1	5.0
Q2-12 看護の対象を総合的に理解するための、豊かな教養と学問への探究心	94.4	87.5	6.9
Q2-13 看護の対象を総合的に理解するための、専門的な知識・技術	96.3	84.7	11.6
Q2-14 アートを活かした癒しの看護を実践すること	96.3	79.2	17.1
Q2-15 多様な場における対象の看護課題に対する、科学的根拠に基づく判断	96.3	83.3	13.0
Q2-16 多様な場における対象の看護課題を解決するための実践	98.2	84.7	13.5
Q2-17 人間の尊厳に基づく倫理観	96.3	90.1	6.2
Q2-18 人々の多様な価値観を尊重する姿勢	98.1	91.7	6.4

Q3. 国家試験対策講座の結果



※図中の太字・斜体の数値は「とても役に立った」「ある程度役に立った」の合計 (%)
それぞれ対象となった学生のための回答結果を示しているため、項目ごと人数は異なる。

昨年度との比較

	2024年度	2023年度	差分
東京アカデミー対策講座(対面講座)	98.2	78.9	19.3
東京アカデミー対策講座(オンデマンド動画)	87.8	65.6	22.2
看護師国家試験問題WEB(医学書院)	71.2	55.7	15.5
国家試験対策模擬試験	100.0	93.0	7.0
チューター面談	88.8	76.8	12.0
国家試験対策ガイダンス(後期ガイダンス時に実施)	85.2	81.4	3.8
領域別国試対策講義(本学教員)	87.0	74.2	12.8
過去問	100.0	86.2	13.8
WAGON社講習会	96.2	87.1	9.1
粧先生面談	95.5	51.2	44.3
振り返りForm	66.6	52.2	14.4
その他の学習	94.0	80.0	14.0

3.で「その他の学習」を使用していた方は具体的に（マイナビ・ユーチューブ、アプリ名など）記載してください。

